

なんだか少し前から
私をついてくるよう
ですが…。

明日は早く出勤する
必要があります…

少し前から後ろから
私を追ってきた女子
生徒か…

あの…
すみません

ト
テテッ

すみません、
電話番号を
教えてください

なぜ突然私の
電話番号を…
変ですが…

それでも学生だから
あまり問題ないだろ
う…。

ありがとうございます
ます。





あなたは今から
私のおもちやです。

...!?



さて…
それでは…

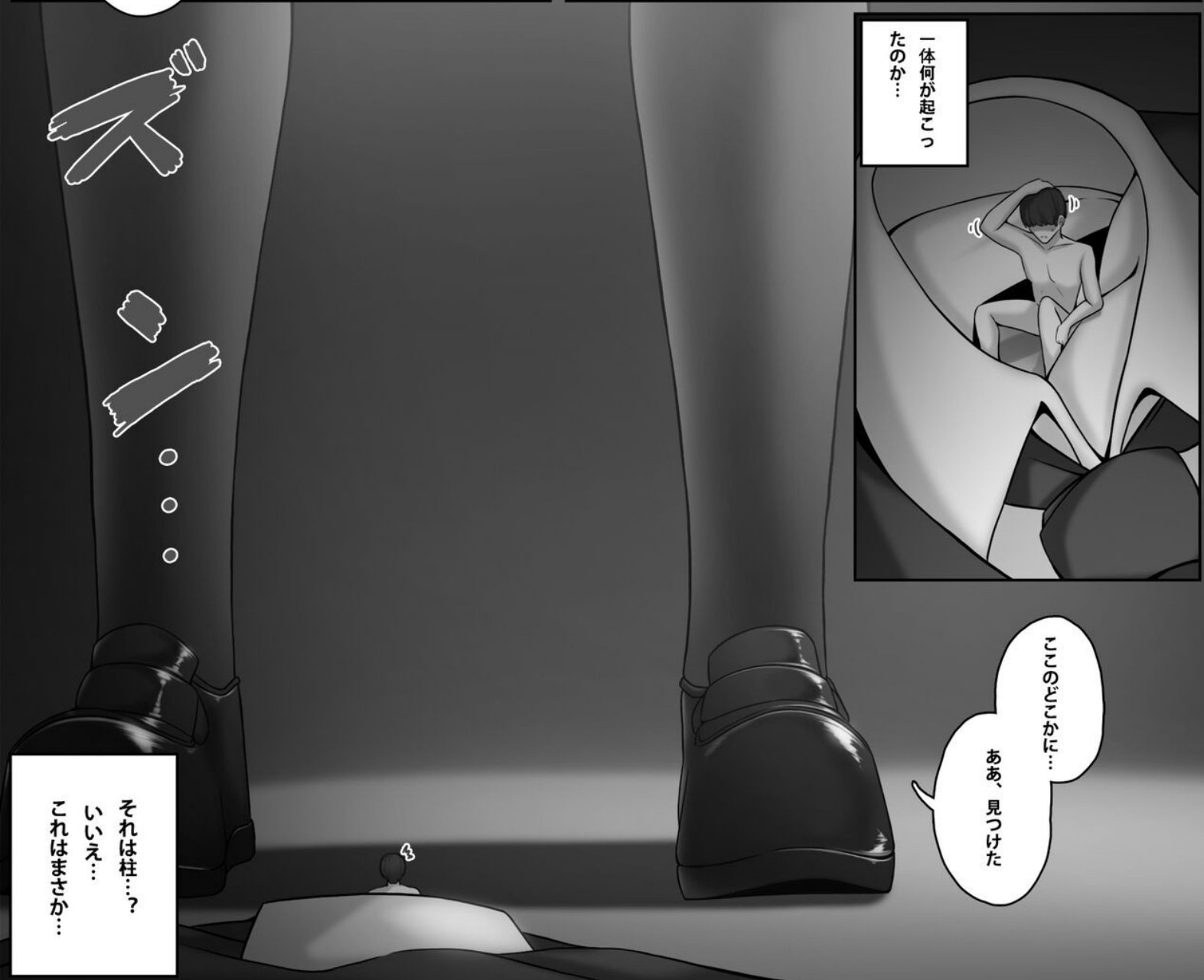
ちよつと…
体が…



おもちや…?



やはり今回も
成功した



一体何が起こつたのか...



このままだ...
ああ、見つけた

それは柱...?
いいえ...
これはまさか...

体が5センチに減った
気分はどう？
やっぱり怖い？

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

巨人…？ いいえ…
まさか私の体が
小さくなりました…？





私が前に使っていたおもちゃが壊れて…



本アプリに記載されている電話番号の所有者の身体を5cmまで縮められる縮小アプリ



どのように元の大きさに戻すべきか、誰がどのような目的で作ったのかなどは知られていない。



新しいおもちゃが必要だったんだ

ま…待って…

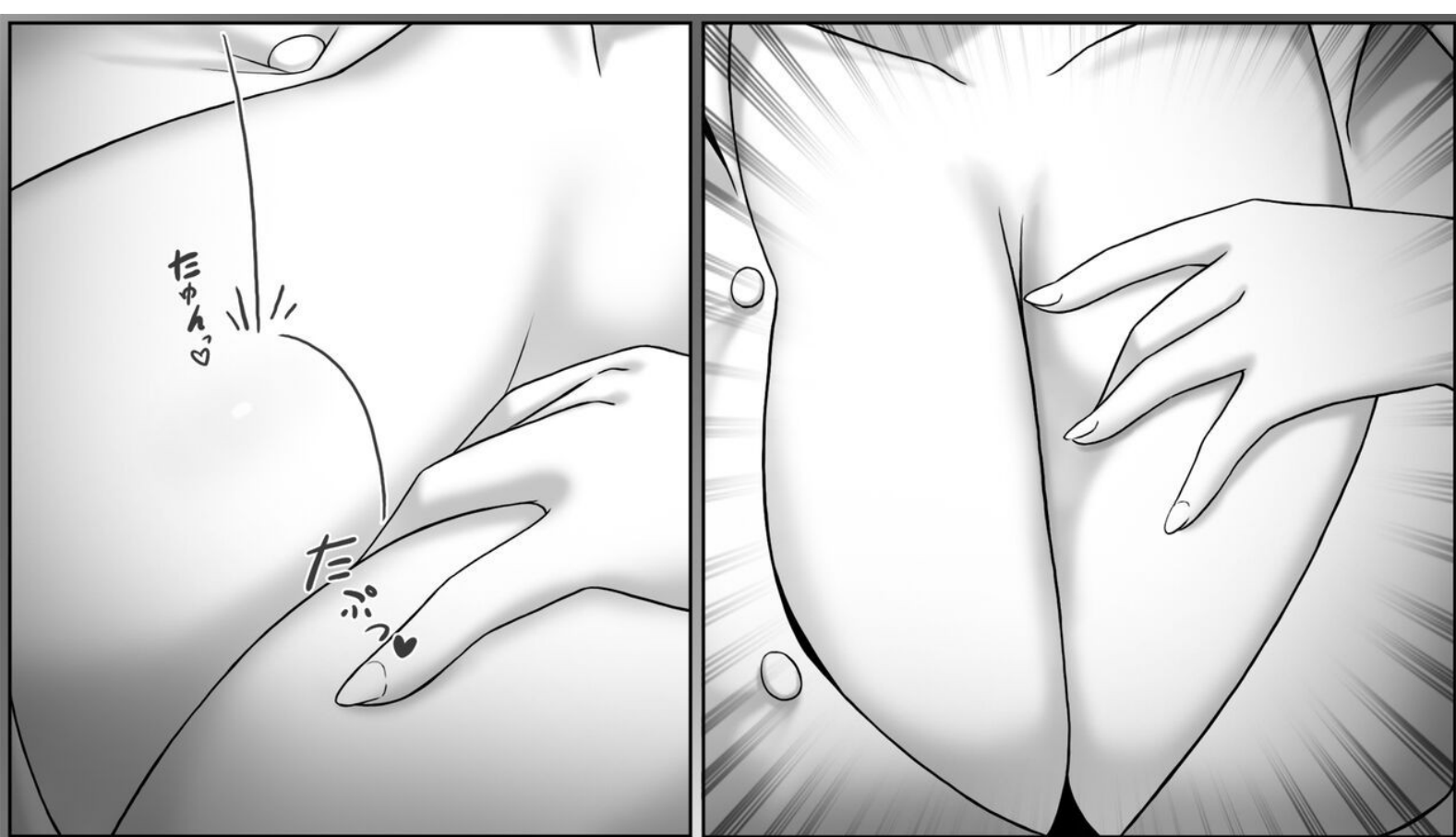
だからこれから

あなたは永遠に
私のおもちゃです

それでは

私の家に招待します





だから家に帰るまで
そこで待っていてね

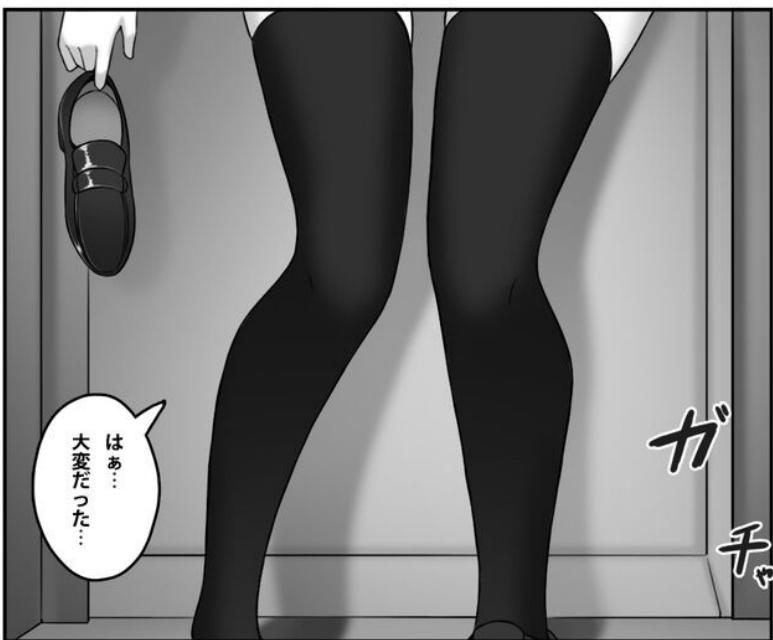
むにゅ♡

家に帰ったらあなたが
喜びそうなこといっぱい
してあげるから、



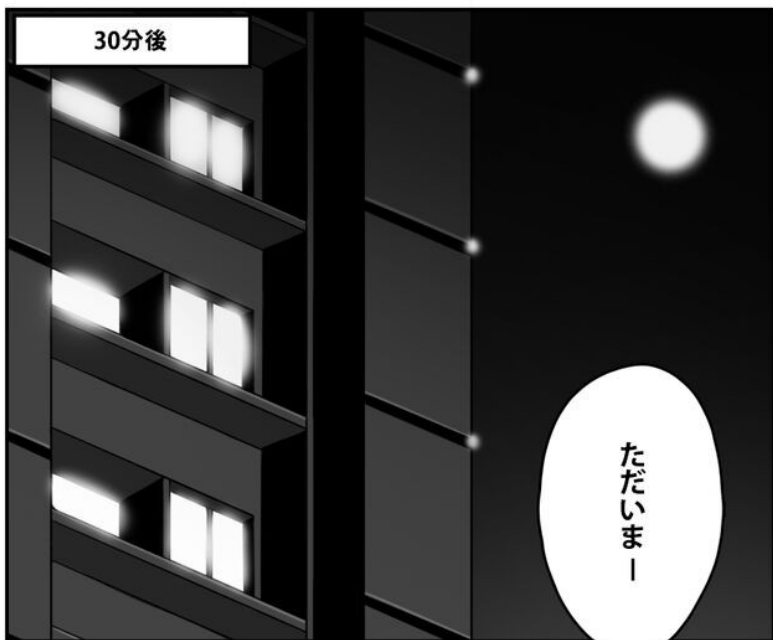
むにゅ♡

To be continued



はあ…
大変だった…

ガ
チ



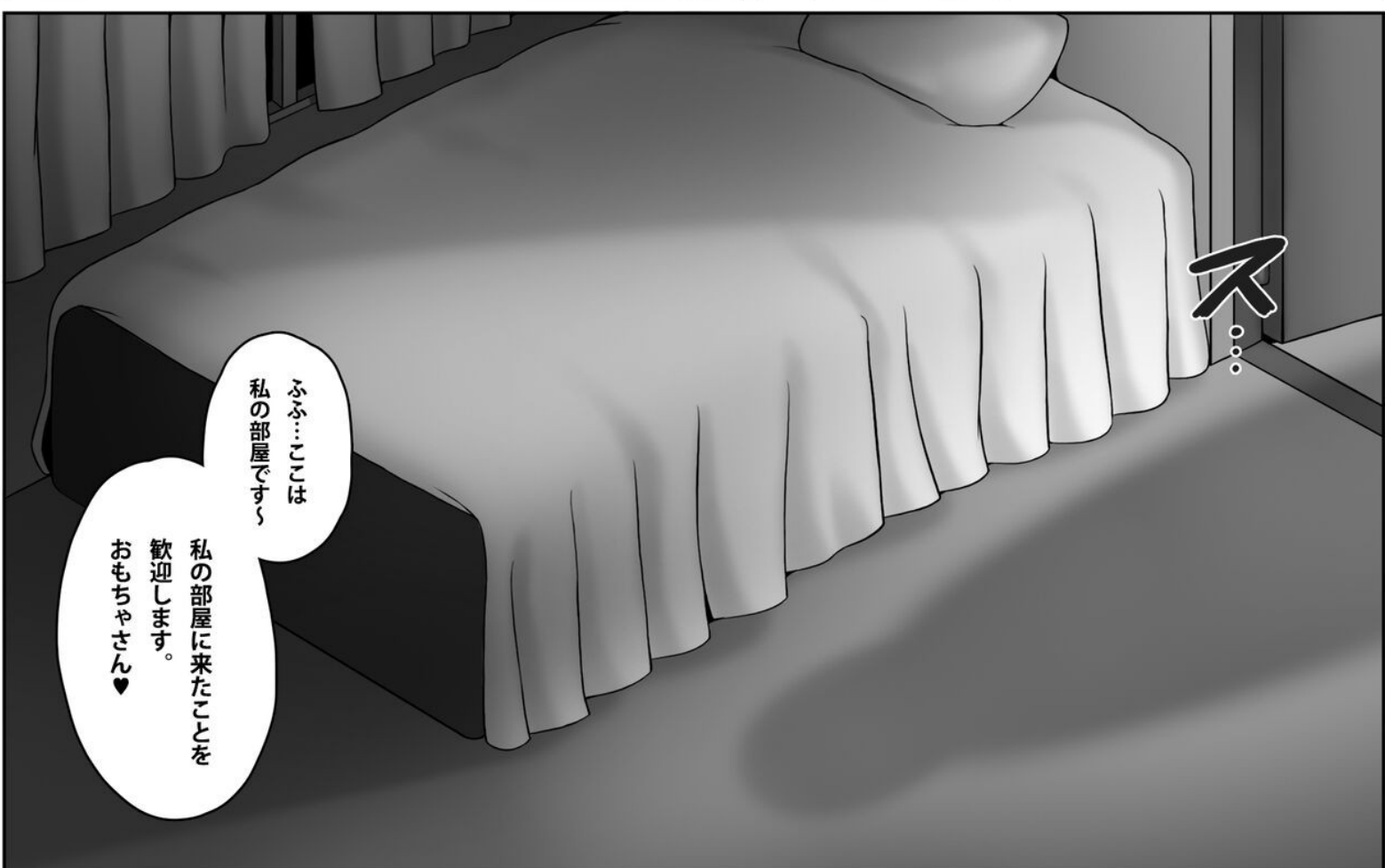
30分後

ただいまー



今回手に入れた新しい
おもちゃでストレスを
解いてみようかな

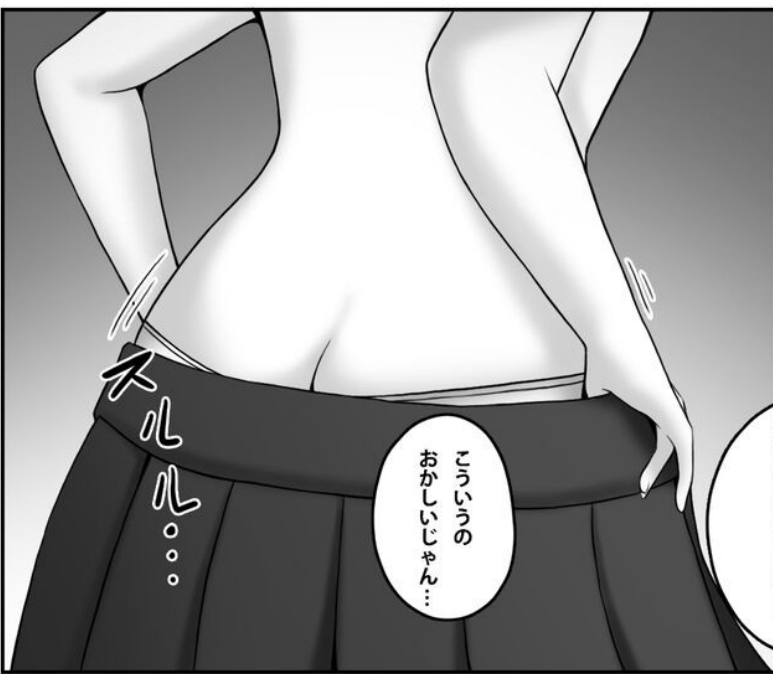
今日は学校に仕事が多すぎて大変だったから、



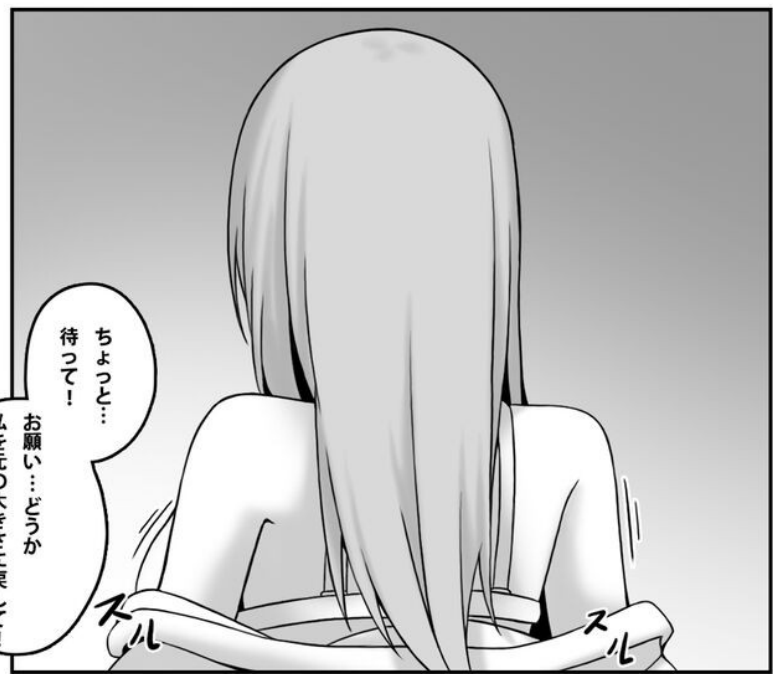
ズ…

ふふ…ここは
私の部屋です

私の部屋に来たことを
歓迎します。
おもちゃさん♡

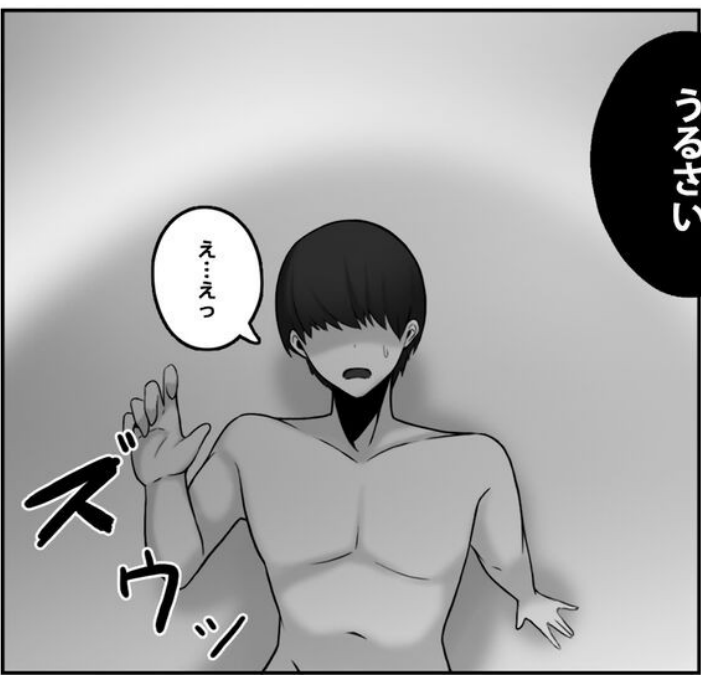


こういうの
おかしじゃん…



ちよっと…
待って！

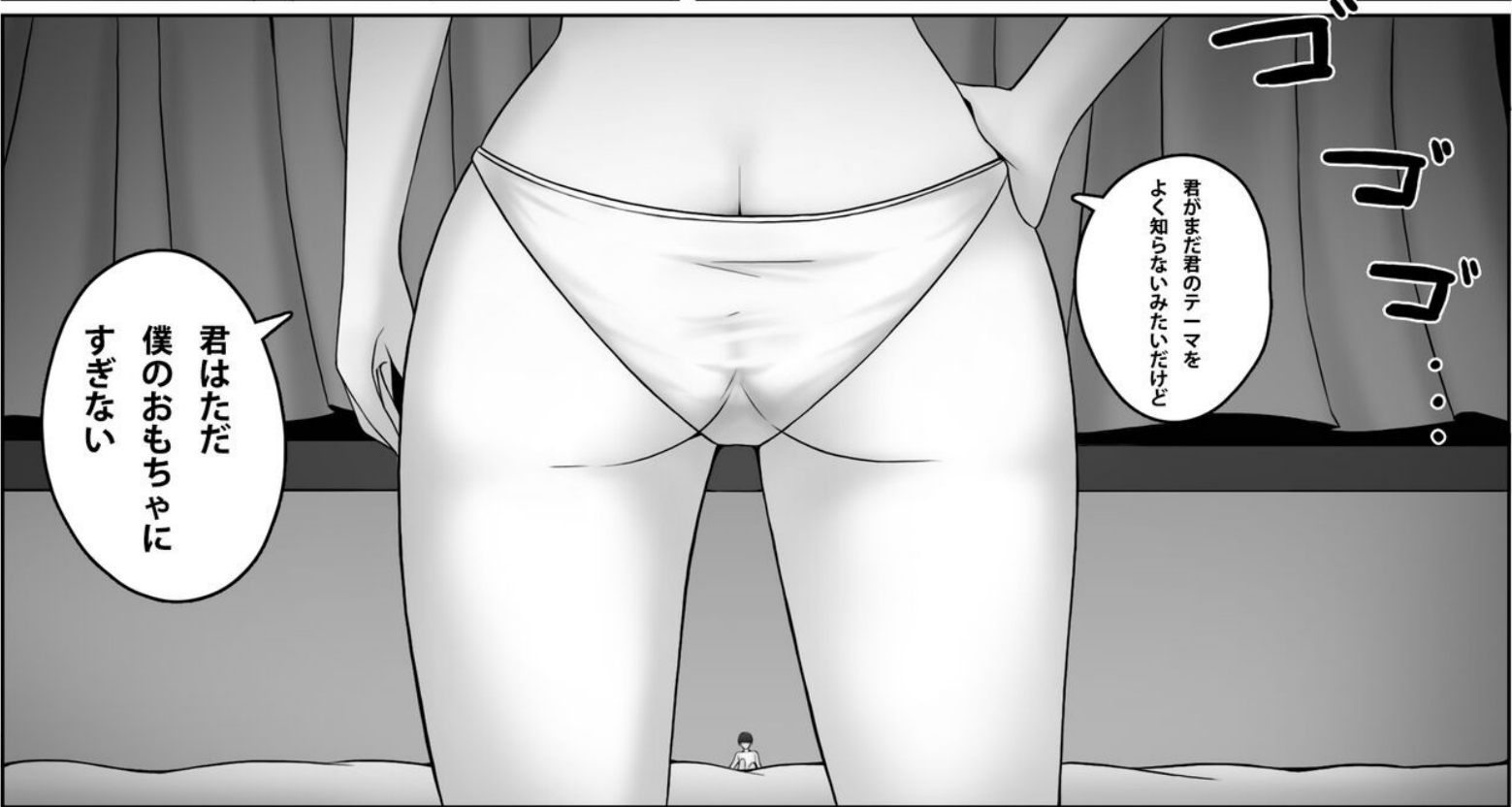
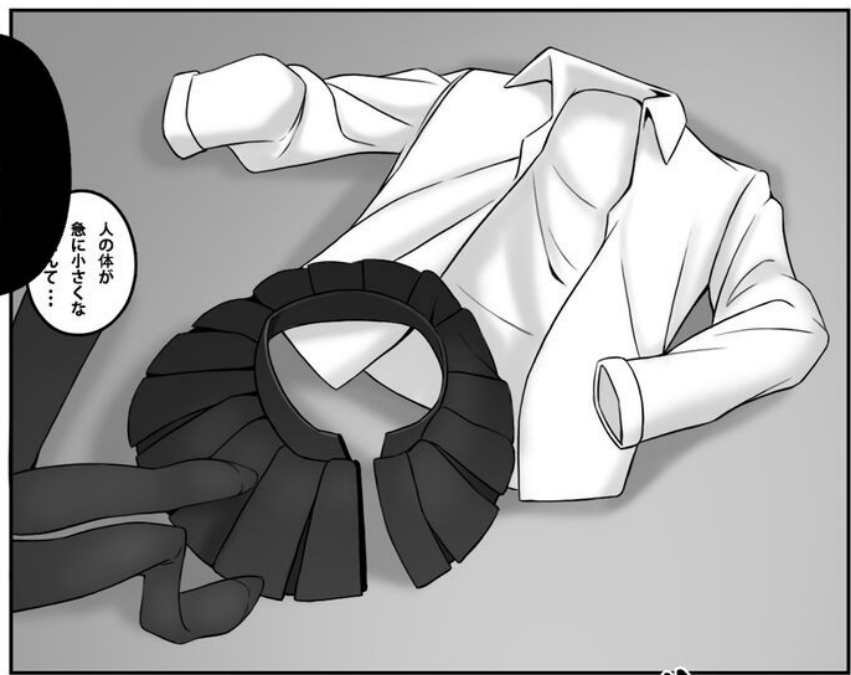
お願い…どうか
私を元の大きさに戻して！



え…えっ

こんなから

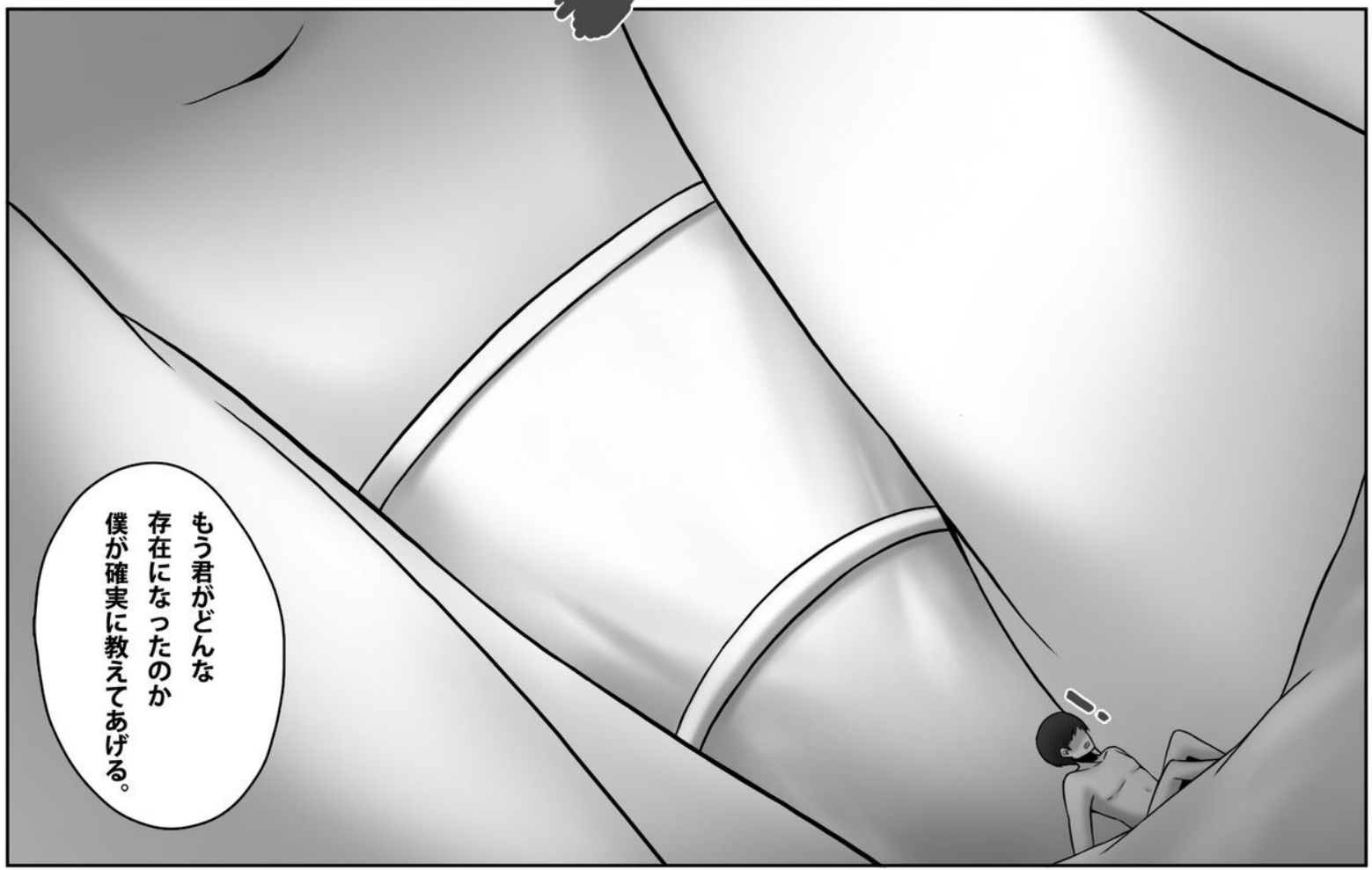
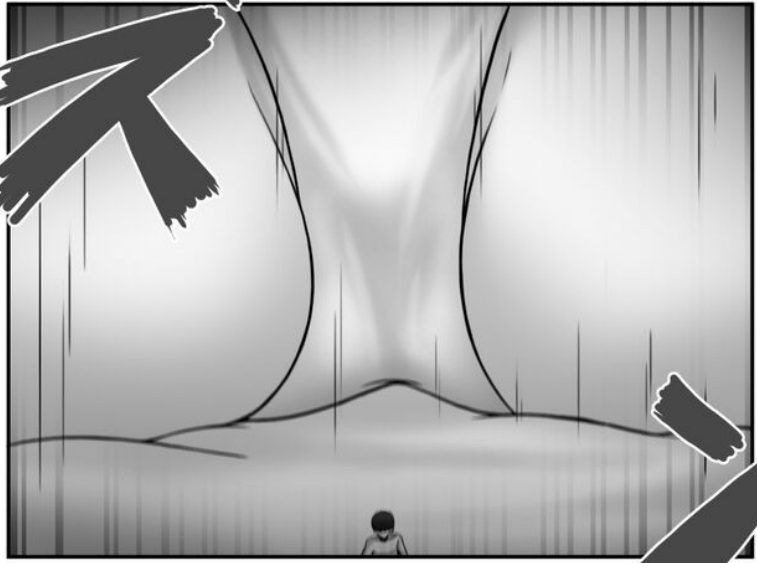
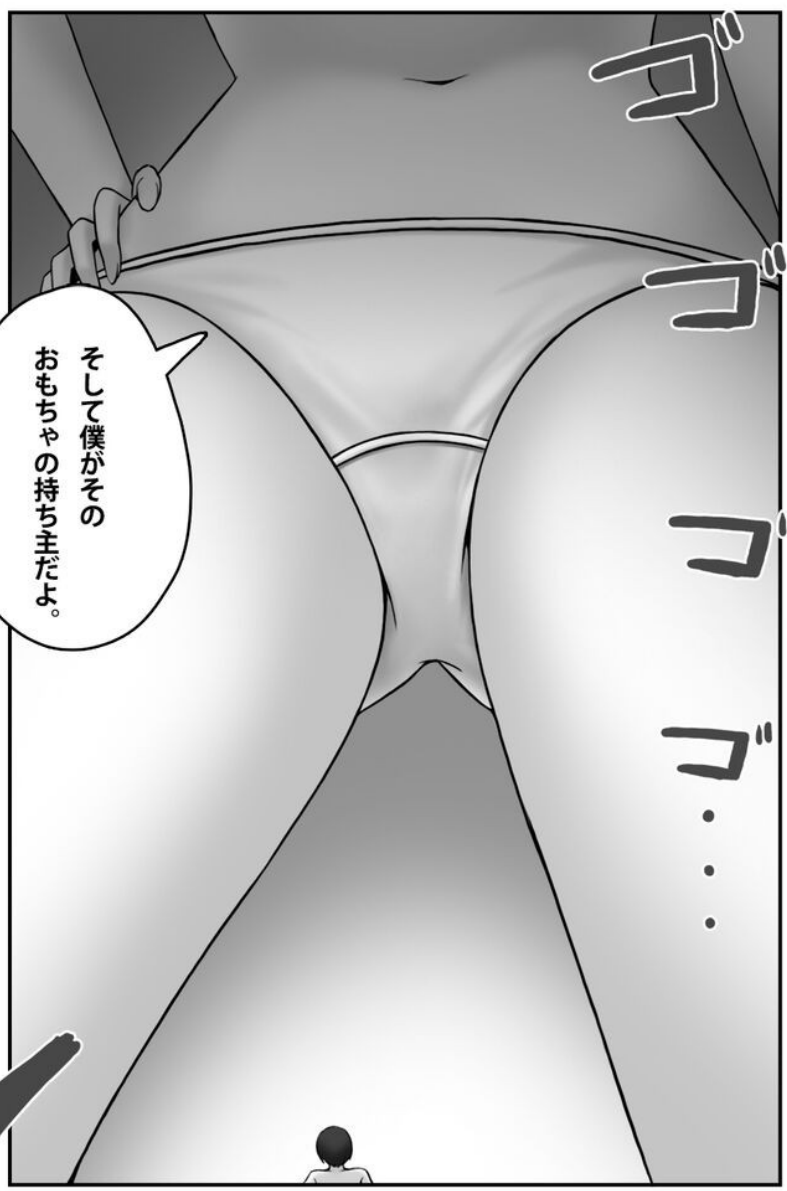
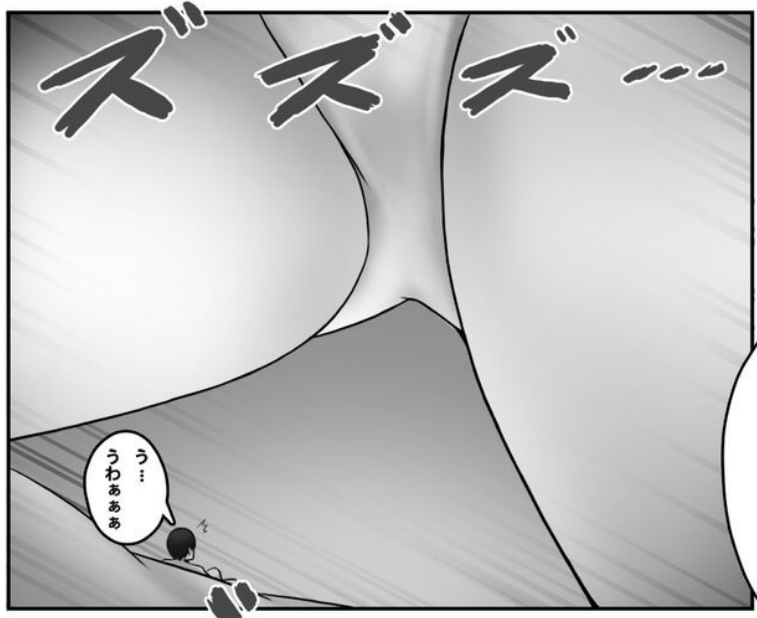
人の体が
急に小さくな
って…

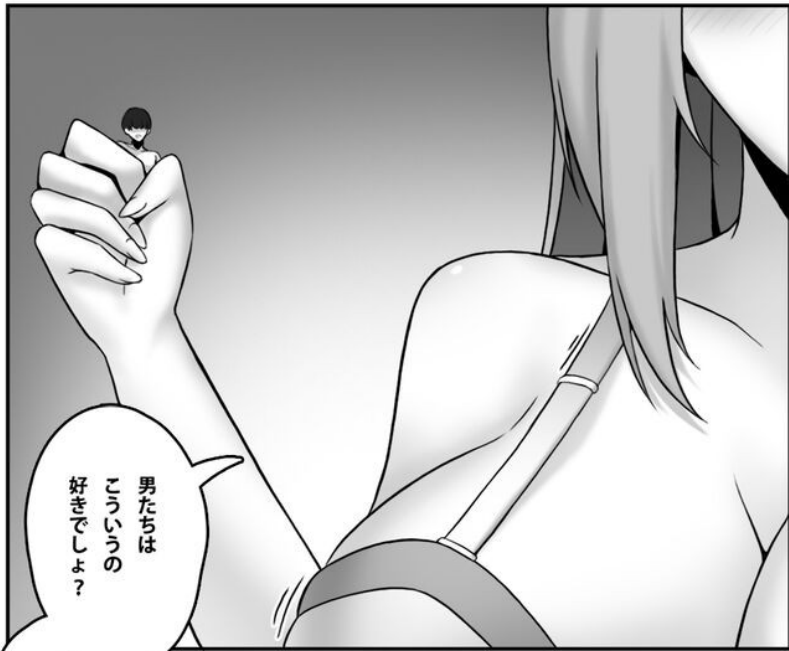


君がまだ君のテーマを
よく知らないみたいだけど

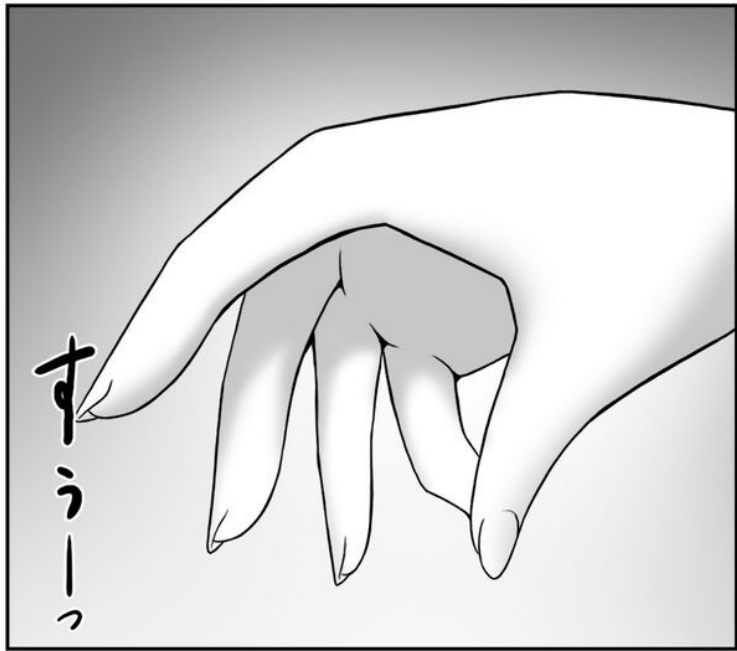
君はただ
僕のおもちやに
すぎない

ゴ
ゴ
ゴ

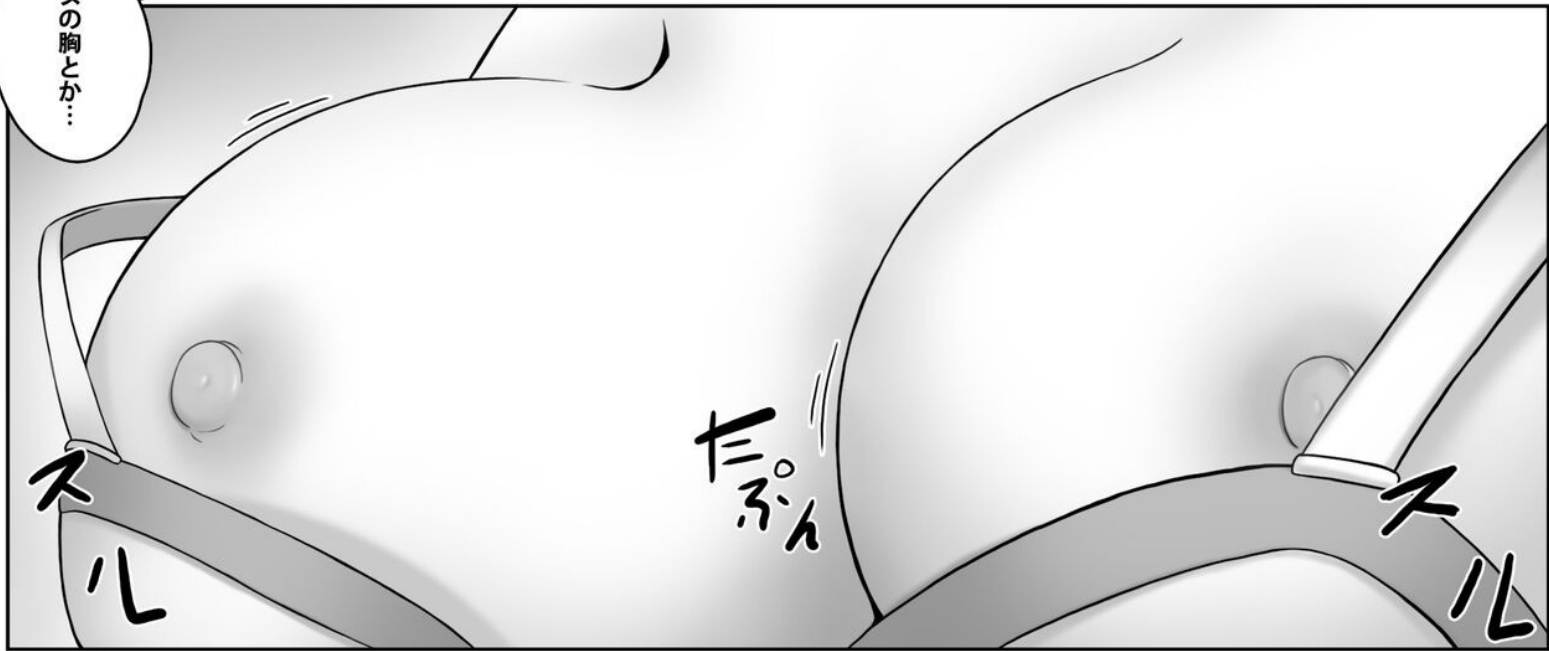




男たちは
こついのの
好きでしょ？



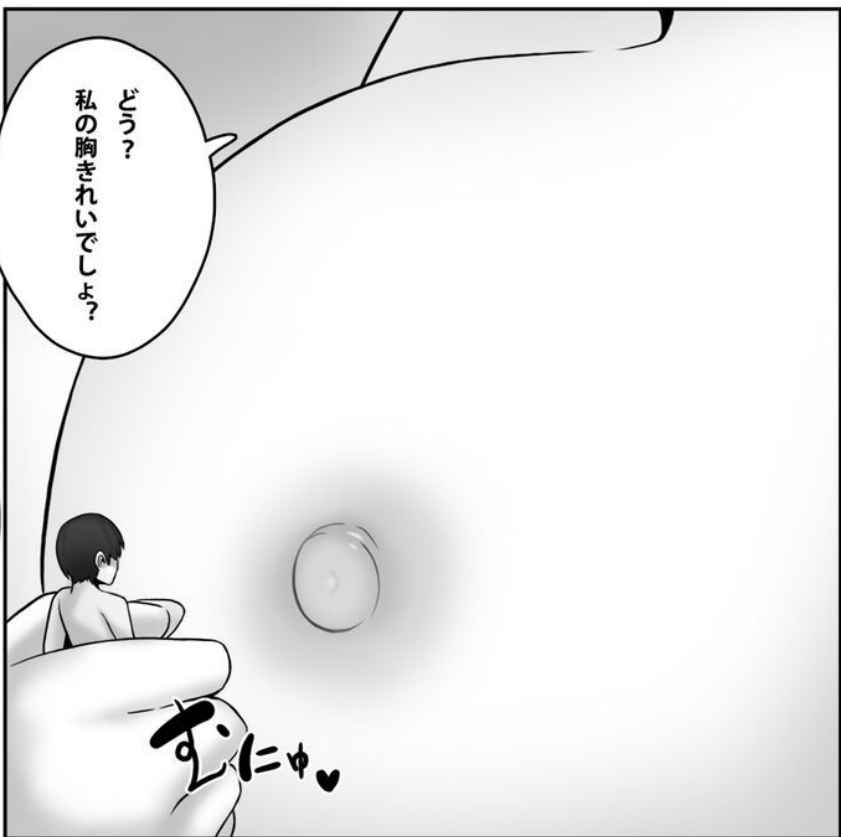
すうーっ



たふん



これが女の乳首？
私の頭より大きいなんて
話にならない！



どう？
私の胸きれいでしょ？

すにゅ♡



ご主人が聞いているのに
どうして返事をしないの？

かふん



飼い主が聞くのに
返事をしないおもちゃは
罰を受けないと。

はあ...♡



はあ...はあ...



これは
やばい...



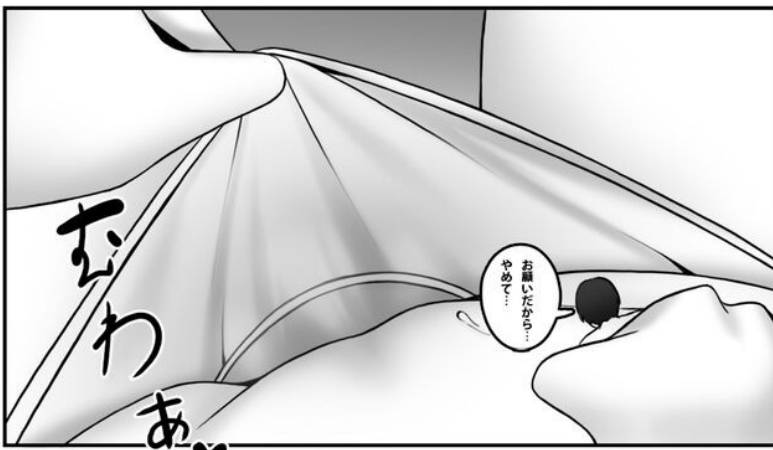
今回はもう少し
長く使えたらいいんだけど...

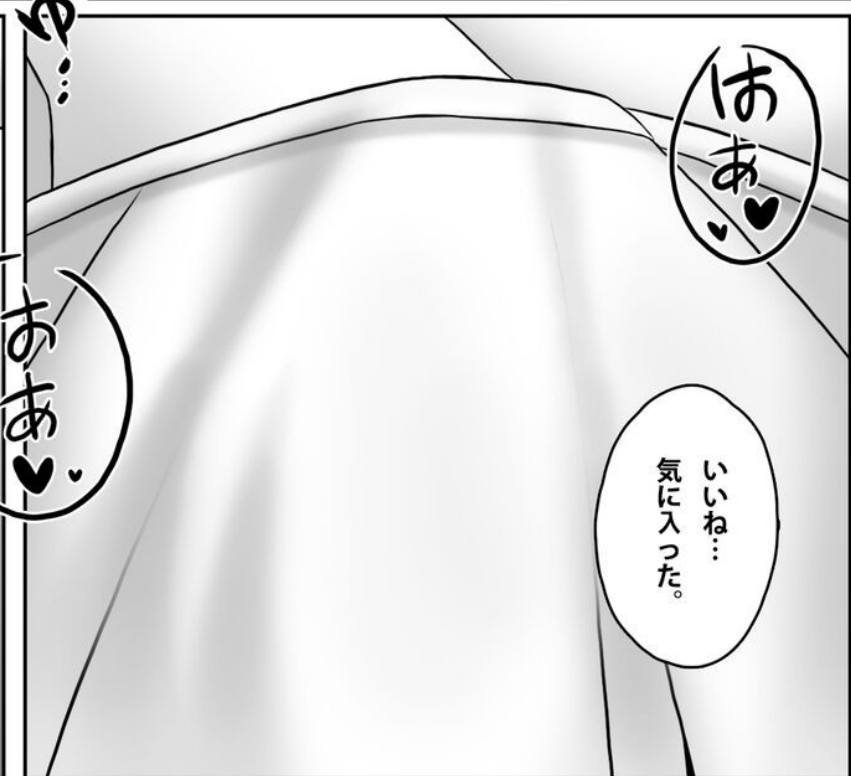
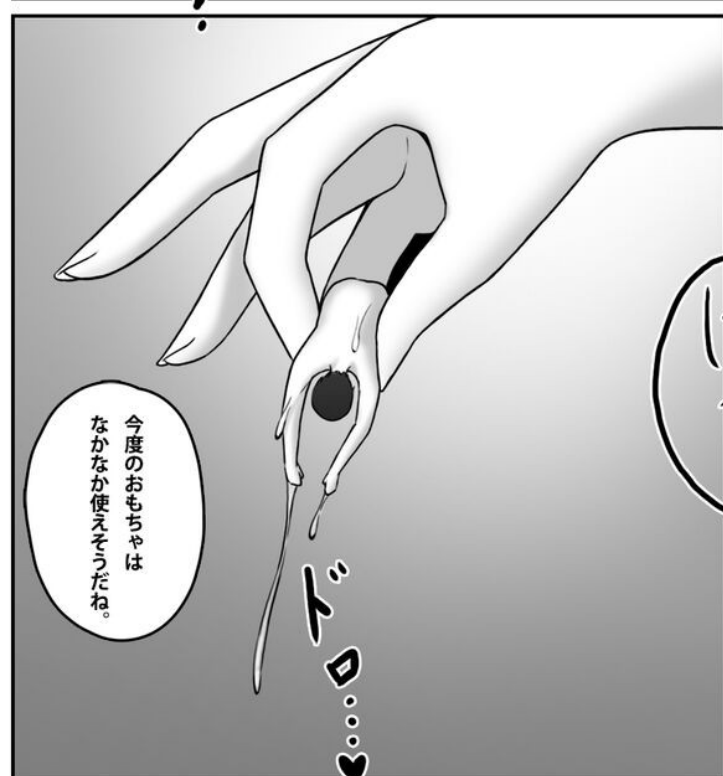
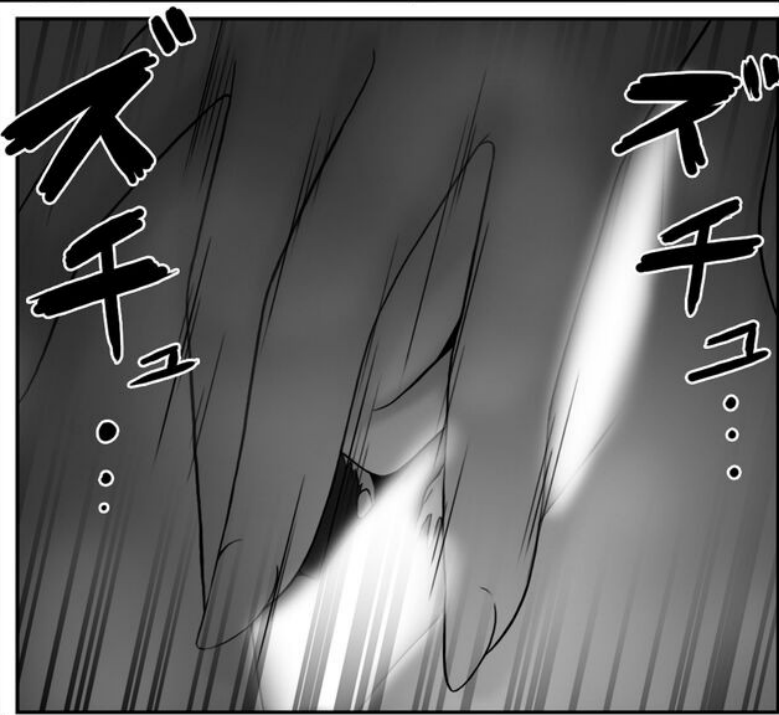
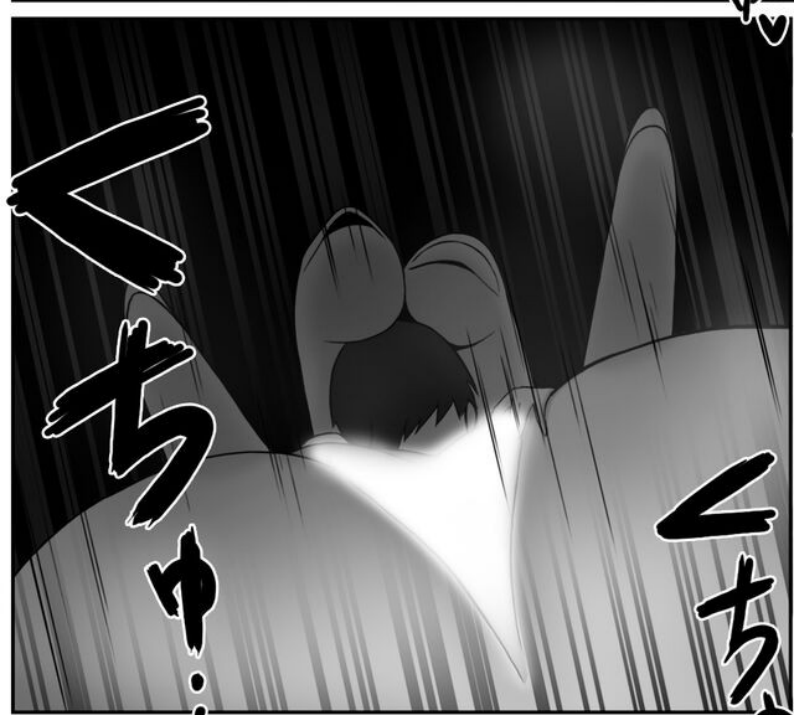
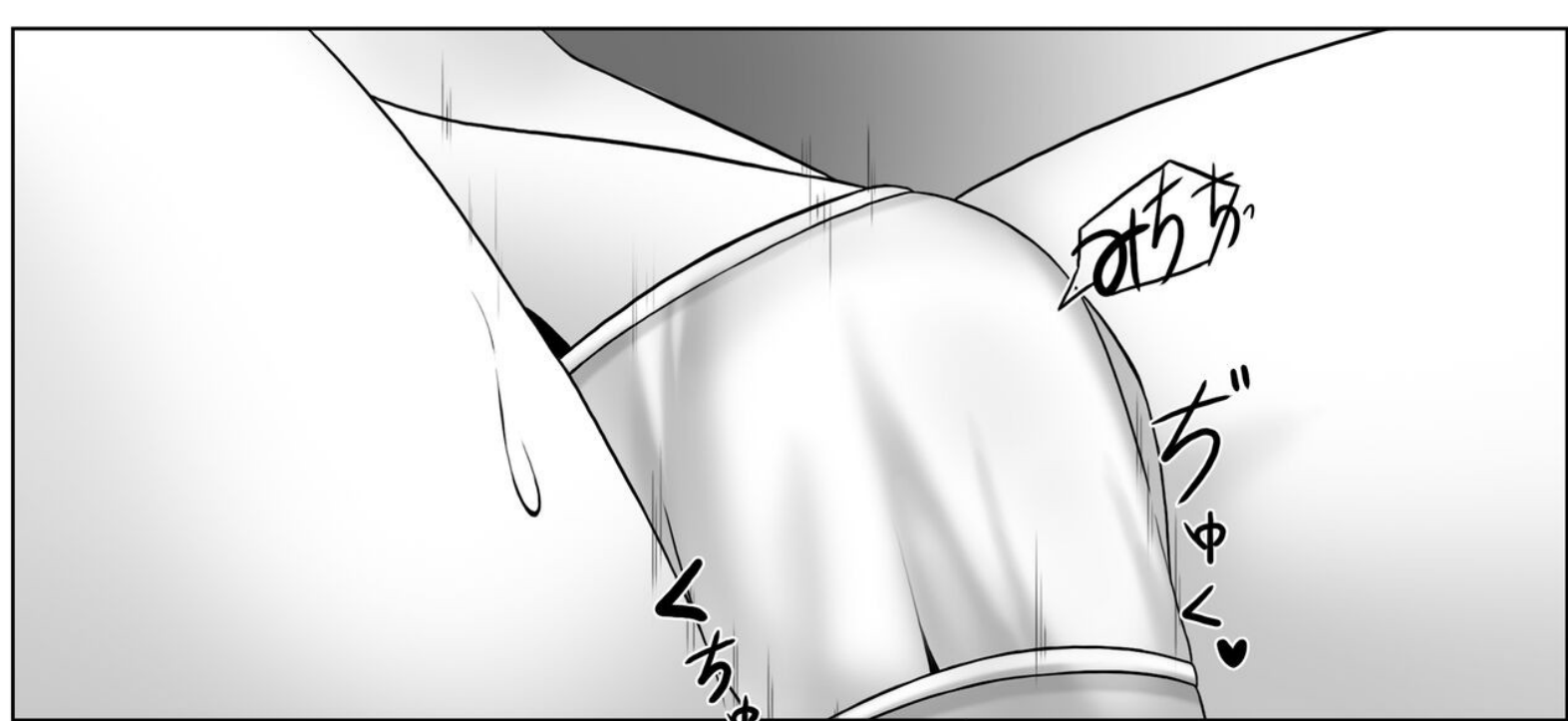
今度のおもちゃは
結構悪くないね。

はあ♡

はあ♡

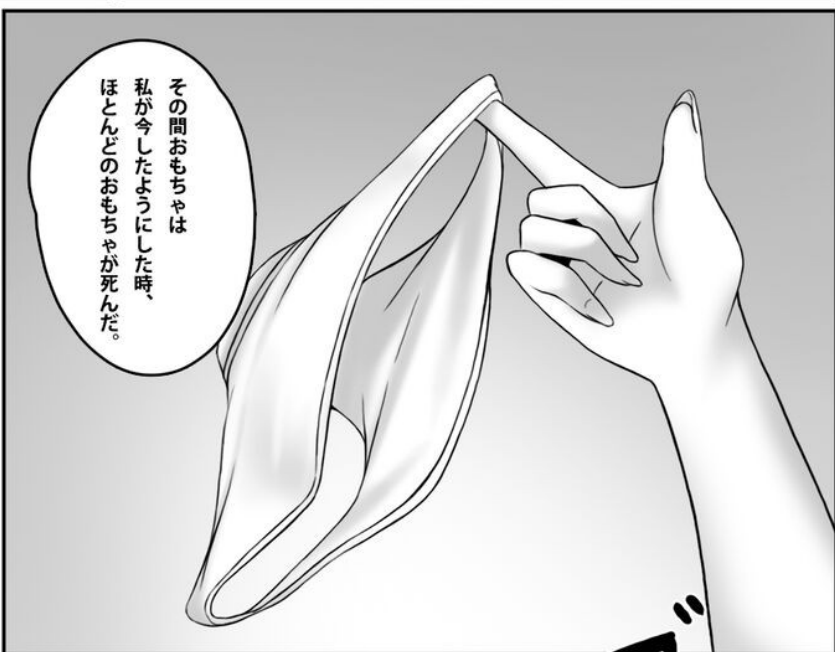
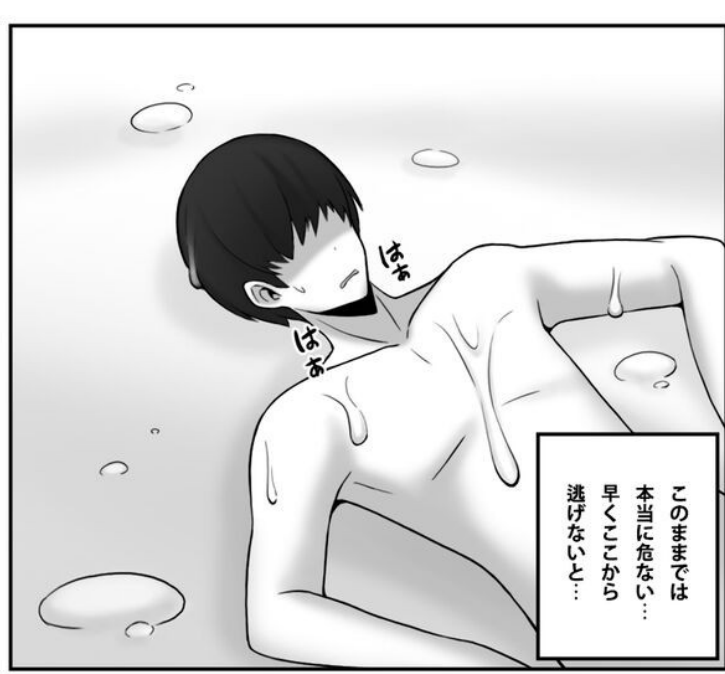
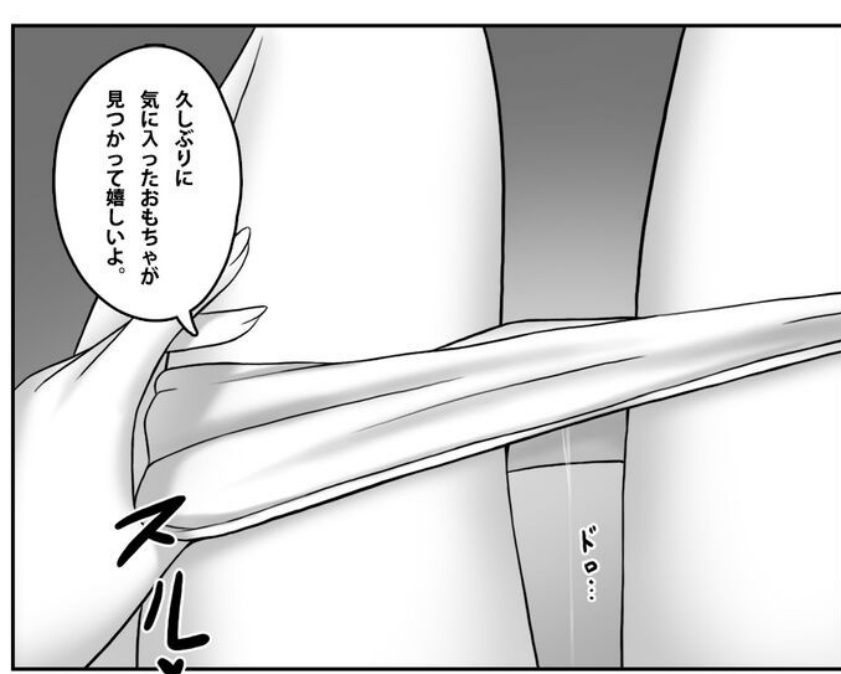
ちゅ
ちゅ





今度のおもちゃは
なかなか使えそだね。

いいね…
気に入った。



何…?
秘密の空間とは…
それは何…

これでもわかりませんか？
君は特別に
私がオナニーするのに
書いてくれるという意味だ

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ…

あり得ない…
これは狂ったことだよ…
あそこに入ったら
私は本当に死ぬかもしれない。
逃げないと…

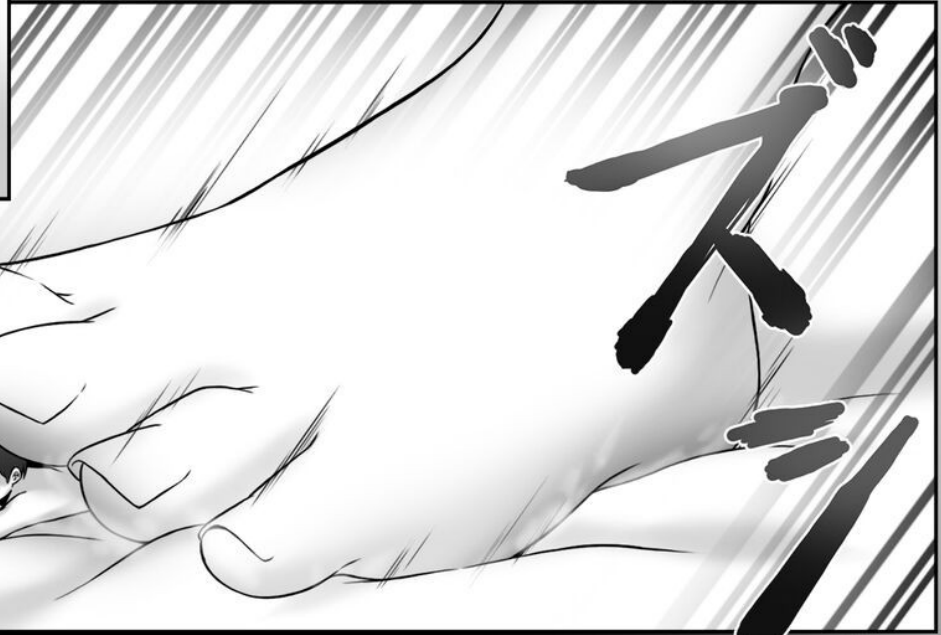
ちよつと待って…
自慰？
それは…私をそこに
入れるということ？

早く逃げないと…！
私はこんなところで
死ぬわけにはいかない！



はあ？まだ逃げようと
思ってるの？

すー



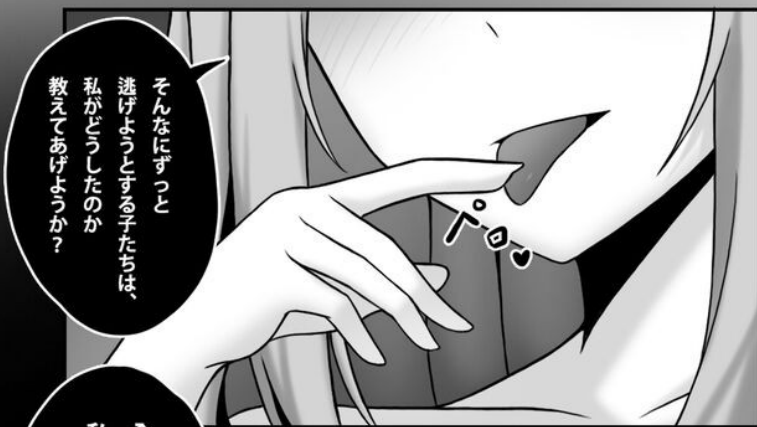
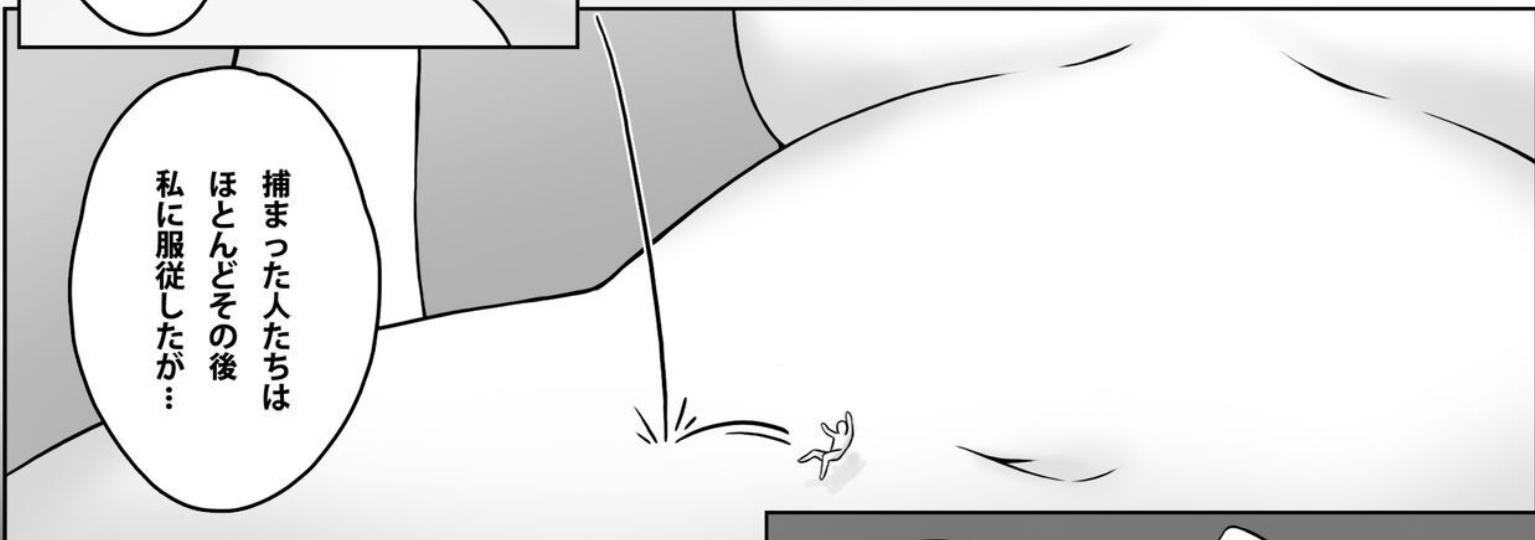
そもそも私から
逃げる事ができるか
思ったの？

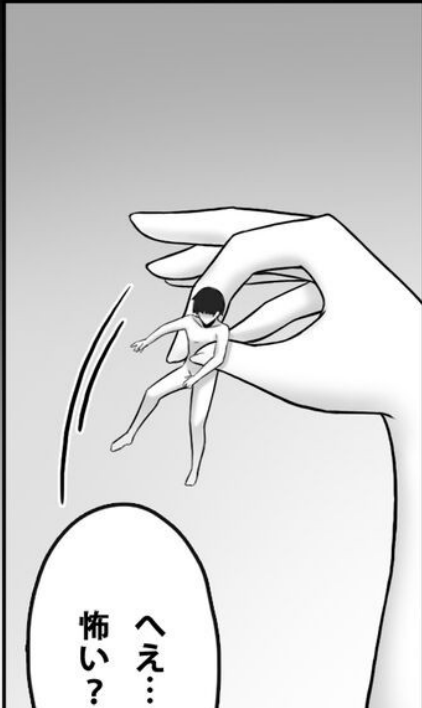
私と言わなかったっけ？
あなたはただの
私のおもちゃで、
私はあなたのご主人だと…。

重すぎるじゃん…
動けない…！



最後に警告するよ。
君は僕から逃げられない



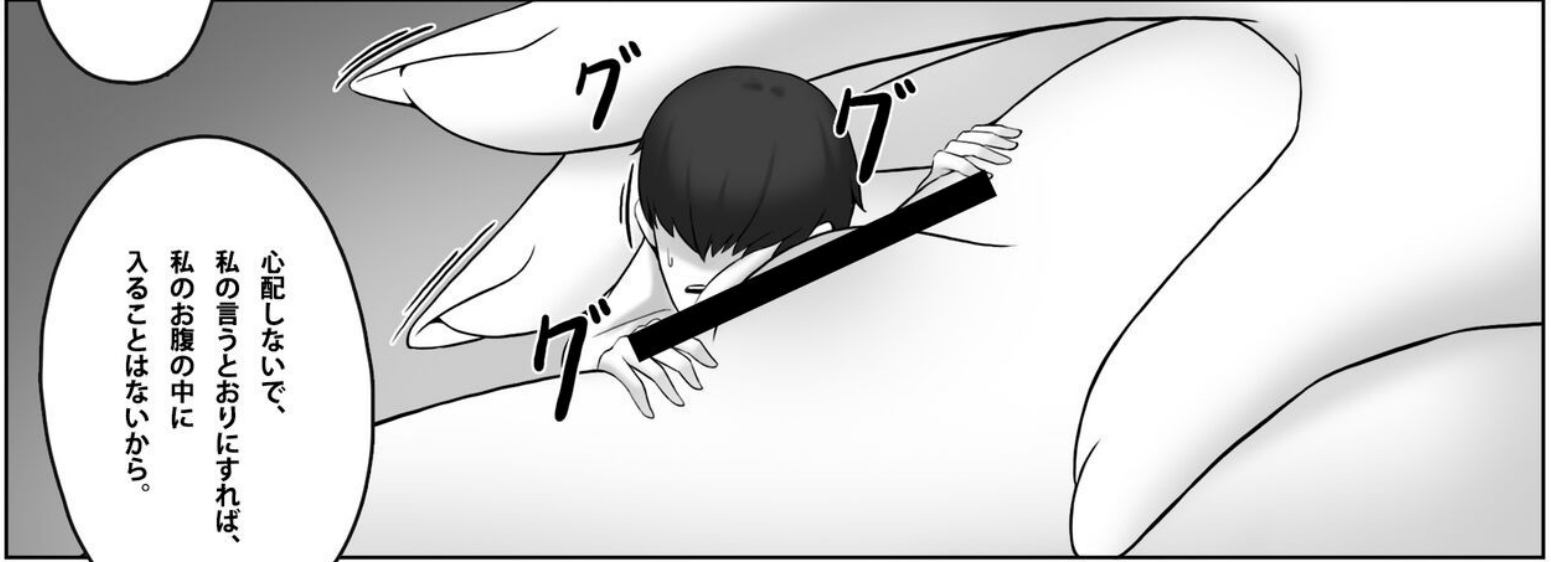


いや…そもそもこの女は
私たちを人として
見なかつたから
死んでも構わないと
思ったかも知れない…



食べちゃったって…?
自分の言うことを
聞かなかったからって人を
食いつぶして
殺してしまったの…?

へえ…
怖い?



心配しないで、
私の言うとおりにすれば、
私のお腹の中に
入ることはないから。



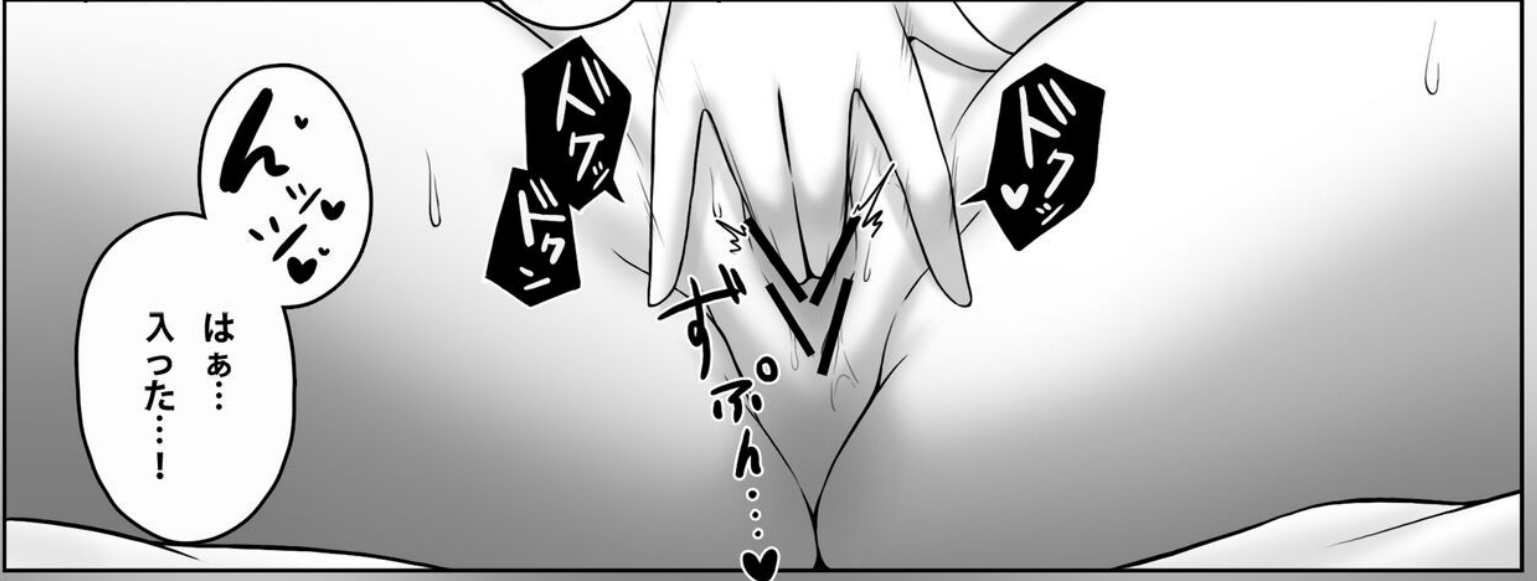
いらすとよ、
もう静かになったみたいだから、
じゃあ…始めましょうか?



はあ…
いいね…
もう中に入れてあげる。



この女…
本当に私を自分のまんこの
中に入れるつもりなの。
やばい…
本当にやばい…



んっ
はあ…
入った…!



へへ…全部入ったね…
この感じはやっぱり
中毒になるんだ♥

うわあ…
すごく狭くて…
息をするのも大変だよ…
すぐにでも押さえられそう…!!

ムキ

ムキ

はあ…はあ…
熱心の中で動いているね…
かわいい…

そんなに
一生懸命動いてくれる
おもちゃには
賞をあげないと…

なぜならお前は
もう人じゃなくて…

はあ…♥
お前には罰かもしれないけど
構わないだろう…

ムキ

ムキ

ムキ

ムキ

はあ…

ムキ

ムキ

ムキ

ムキ



わたしは
私のおもちゃに
すぎないから…!



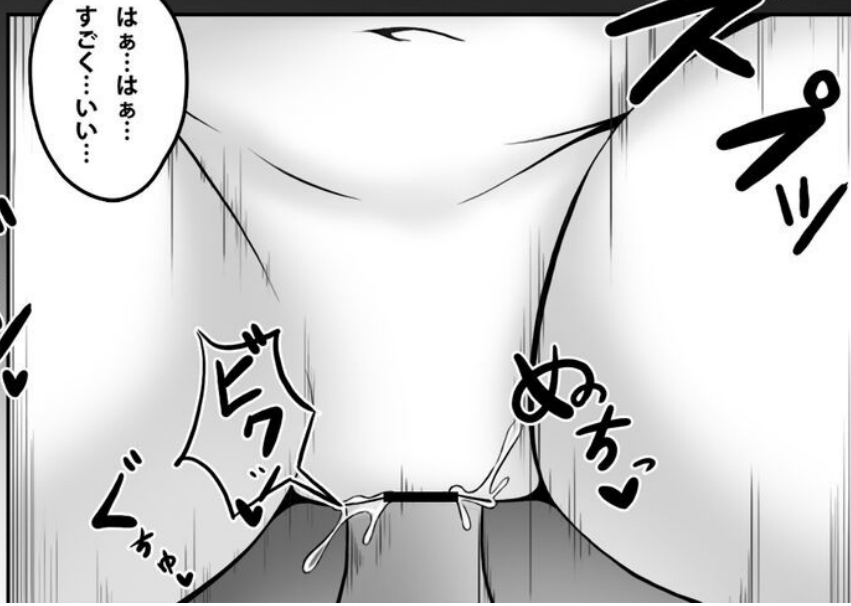
ちよと強いて…
何だよ…?
何かが入ってきてる
じゃん…?



はぁん…



待って…



はぁ…はぁ…
ちよ…ちよ…



ズン
ズン
ズン

ズン
ズン

グチャ
グチャ



はぁ...

はぁ



はぁ...

はぁ

はぁ...せう...
ら...ん...
...



グチャ
グチャ

全身が痛くて
息もできない...!
もう...これ以上は...

